

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

### 【桜川市岩瀬「秋」俳句会】

胃痛に脛さすりつ飾る妻の雛 小林 啓治

父母になき齢を生きて豆を撒く 三代 みちよ

輝きて五色に見えし滝凍る 入山 ひろ子

身を病めば十歩も遠出寒椿 細谷 充女

日脚伸び手のひらほどの家敷畑 若色 寿美女

レンタルの白轉車でくる福寿草 金田 とう女

如月に吹き残されし寒さかな 斎藤 みよ

立春や本読む子らの声澄みて 渡辺 千恵子

手中より溢れてしまふ年の豆 萩原 きしの

### 【茂山俳句会】

待つといふときめきのあり寒牡丹 田崎 信子

みどり児の百面相や春を待つ 吉原 秀子

春待つや口ついて出る童唄 竹林 てる

梅咲いて夫との会話一つ増え 鈴木 ノブ子

人生はいつも旅人春を待つ 宮本 芳江

初音聞く心足る日の目覚めかな 鈴木 つぎ

お互いに年を聞き合い日向ぼこ 植田 祥雲

内陣の弥陀の眼差し淑気満つ 今井 繁子

風揚げにてこずつてをる親子かな 松崎 いま

鯪に懸る尾張の初御空 海老沢 静夫

待春や大きく背伸びして退院 笠倉 陽子

杓底に寒九の水を残しけり 君島 真理子

春待つや遇ふ人なしの過疎の村 金子 弘毅

初場所や満員機敷の人となり 大関 くに

歩く友みんな八十路や春を待つ 皆川 一女

寒稽古手足だんだん漲る血 海老沢 幸子

胎の子に声掛け替ふる新曆 吉原 京子

初鶏に目覚むる故郷の朝かな 宮本 立男

不自由な手足の寒さ時を待つ 泉 健作

雪催ふ空もるとともにキックオフ 飯山 昭

## 短歌

### 【桜川歌壇の会】

父からの軍事郵便文字の癖確かに吾れも孫も 引き継ぐ 黒田 青磁

便りなきことは元気な証よと先人の知恵今に 引き継ぐ 篠崎 貞之

「見に来てねぼくの発表十一時」孫の置き手 紙いそいそ出向く 平塚 節子

筆まめの友の便りは墨書きの封を切るときと きめきありて 中沢 一紅

## 俚謡

### 【さくら俚謡会】

孫の運転みんなの笑顔双葉マークに春の雪 岩瀬 絵都女

波の上とぶ高速船は彼の住む陸花盛り つく志 輝美

連れて行ってよおいでかないで車後追う杉花 粉 一木 みどり

雪が降るから逢えないかしらしんしん降るか ら来るかしら いなばない

涙ポロポロ春一番に恋か花粉か知る地藏 田 哲人

パソコンを覚えましたと同齢の友の便りは喜 び溢る 田沼 むめ

ふと見れば紅にほふ桃の花友にしたたむ野点 のさそい 中原 すみ子

一束の君の便りが筐底に秘められしまましみに 犯さる 島 杜桃

絵手紙に春の便りとふきのとう描いて送りぬ 恩師の元に 江橋 照子

折おりの野菜果物実りおり花ばな笑みし君の 絵手紙 滝田 きく江



広報

さくらがわ

有料広告 募集中!

■サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm

■掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円

※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

## 時間講師 大募集!

個別指導で国内最大規模の明光義塾で、子どもたちのサポートをしながら、自分自身の成長に繋がるお仕事です。勤務地は岩瀬教室・笠間教室、面接は岩瀬教室にて行います。まずは、お気軽にお電話下さい。



個別指導 明光義塾

岩瀬教室 ☎0296-75-4119

受付:月~金(祝日含む) 14:00~21:00